

札幌市議会議員（西区）

さだもり

# 定森ひかる 活動報告

2025.01 

vol.07  
新年号



## 2024年 一年間の議会での取り組み

2024年は年4回の定例会（第1回：2/14～3/26、第2回：5/17～6/4、第3回：9/18～11/1、第4回：11/28～12/11）と各種委員会が開催されました。定森ひかるは約30回にわたり質問に立ち、さまざまなテーマについて質問をしました。

### ～多く取り上げたテーマ～



#### 子ども・子育て

8回

最も多く取り上げたのは「子ども・子育て」分野です。身近な子育て相談窓口の設置、いじめ対策、学校設備の充実、児童クラブの推進などについて質問しました。自身の子育て経験を活かし、子どもが安心して過ごせる環境や、子育てしやすい環境の実現に向けた提言も行っています。



#### 市民自治・官民連携

4回

市民の意見を丁寧に把握し、それを反映した政策づくりや、地域住民による活動の促進など、市民自治に関する質問を多く取り上げています。また、官と民がそれぞれの強みを活かし合うまちづくりを目指し、行政と民間団体の協働の必要性についても、議会で繰り返し取り上げています。



#### 福祉・医療

4回

介護・障がい分野の従事者の待遇改善や、身寄りのない方への医療支援、物価高騰による困窮者対策、部署横断の相談支援の必要性について提案しました。世代間の分断を避け、多世代が支え合える仕組みや、多様性を認め合う社会の重要性を訴えています。

#### その他

経済振興、災害対策、移住・定住促進、デジタル化、働き方改革、カスハラ対策など市民の皆さんから頂いた声をもとに質問をしています。



### 定森ひかる（38歳）プロフィール 3月に子どもが生まれ、子育て真っ最中

1986年 名古屋市生まれ、高校生の時に北海道へ自転車旅行／2009年 北海道大学農学部 卒業・名古屋の岡谷鋼機(株)入社／2012年 NPO法人ささしまサポートセンター 入職／2016年 NPO法人北海道NPOサポートセンター 入職／2023年 大島かおる市議の後継として初挑戦して当選

高齢者共同生活館ほしの里（発寒）の運営、西区で保護司としても活動

趣味は登山・道内旅行・歴史・読書。絶景をみるのが大好き。愛知県半田市出身の妻と0歳の息子と3人暮らし。



## 地域でも様々な活動をしています



### 12/1 第2回 子どももちつき会&おたのしみ縁日

2023年から始めた「子どももちつき会&おたのしみ縁日」の第2回を開催しました。このイベントは、冬でも子どもたちが楽しめる機会を提供しようと企画したもので、昔ながらの餅つき（石臼と木の杵）を体験したい！という子どもたちの声に応えました。今年は70名を超える子どもたちが参加してくれました。また、射的やさかな釣り、型抜き、ヨーヨー釣りなど、前年よりも充実した縁日の内容で、子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。親同士が交流する光景も見られ、親子が地域のつながりを深める場となりました。私自身も参加された親御さんたちから、子育て支援についてさまざまな意見を伺うことができ、市政に反映させたいと考えています。これからも、親子で楽しめる機会を増やし、地域全体で子どもたちを見守る環境づくりを進めていきます。



### 報告

## 12/22 市政懇談会を開催 ウェルネス（健康）について

### 「健康のために肺を守ろう！」 田中明彦医師（市立札幌病院呼吸器外科前部長）

2回目の「市政懇談会」を発寒福祉会館で開催しました。テーマは前回に引き続き「健康」と「医療」です。

人生100年時代といわれる現代、健康は「より善く生きる」ための重要な要素であり、幸福な人生を支える基盤です。札幌市も10年間のまちづくりの方向性を示した「まちづくりビジョン」で、ウェルネス（健康）を重要なまちづくりの柱として掲げています。この懇談会は、生涯を通じた健康づくりや、社会参加の場の充実に向けた取り組みを市民の皆さんと一緒に考えるために企画しました。

講師には田中医師をお招きし、「肺」をテーマに講演をしていただきました。喫煙による健康への影響について、肺の仕組みから丁寧に説明があり、参加者からは「分かりやすい！」との声が多く寄せられました。また、会場では受動喫煙の問題について質問が挙がるなど、活発な意見交換が行われました。新たな気づきや情報共有ができる場となり、健康に対する意識がさらに高まる機会となりました。



定森ひかる  
事務所

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条7丁目5-14 2F

☎ 011-621-3027 ✉ info@h-sadamori.com



HPもご覧  
ください！